

## 連休明け米株市場は下落 – 米中通商交渉の行方をめぐり神経戦の様相

## 主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	1月22日	1月21日	前日差
日本 日経平均株価(円)		20,622.91	20,719.33	-96.42
- CME日経平均先物(円)		20,435.00	休場	—
TOPIX(東証株価指数)		1,556.43	1,566.37	-9.94
米国 NYダウ(米ドル)		24,404.48	休場	—
S&P500		2,632.90	休場	—
ナスダック総合指数		7,020.36	休場	—
ドイツ DAX®指数		11,090.11	11,136.20	-46.09
商品	(単位:米ドル)	1月22日	1月21日	前日差
原油 WTI先物(期近物)		52.57	休場	—
10年国債利回り	(単位:%)	1月22日	1月21日	前日差
日本		▲0.005	0.005	-0.010
米国		2.740	休場	—
ドイツ		0.236	0.255	-0.019
オーストラリア		2.300	2.311	-0.011
為替(対円)	(単位:円)	1月22日	1月21日	前日比%
米ドル		109.39	109.67	▲0.26
ユーロ		124.27	124.64	▲0.30
英ポンド		141.72	141.39	0.23
オーストラリア(豪)ドル		77.87	78.51	▲0.81
インドルピー		1.5312	1.5386	▲0.48
ブラジルレアル		28.673	29.165	▲1.69
トルコリラ		20.479	20.589	▲0.54

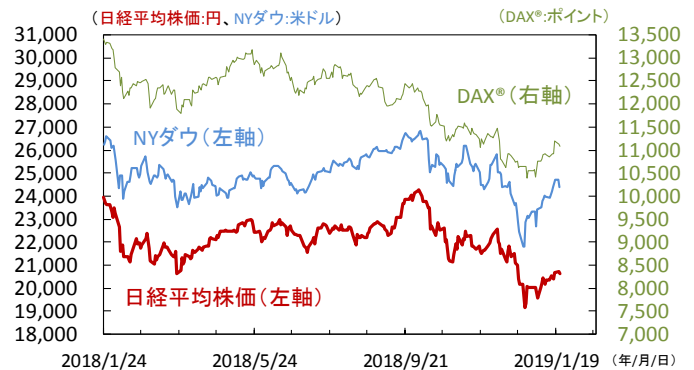
注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

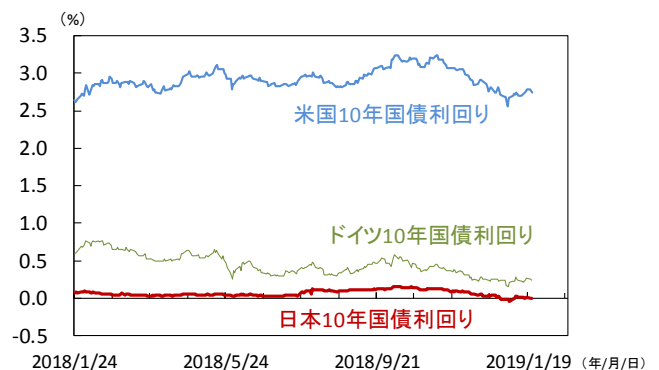
## ◆マーケットの動き:

- 日経平均は小幅安。IMF(国際通貨基金)の世界経済見通し下方修正(2019年世界経済成長率を3.5%へ昨年10月時点から▲0.2%pts)を嫌気、本日の日銀金融政策決定会合を控えた様子見姿勢も手伝い上値が重い展開。
- 連休明けのNYダウは前週末比301.87ドル安。米中通商交渉にて、米政権は中国の準備会合提案を拒否(クドロー国家経済会議委員長は後に否定)との報道受け、資本財銘柄を中心に売り。また、米政府は中国通信機器大手ファーウェイの最高財務責任者の身柄引渡しを同氏を拘束するカナダ政府に通知、との報道も冷や水に。
- 米10年、独10年国債利回りは共に低下。独1月ZEW景況感現状調査は27.6と市場予想の43.0に届かず、ユーロ圏の景気減速を裏付けた格好。一方、米政府閉鎖の最中、トランプ大統領は29日に一般教書演説の強行を示唆、延期求める議会民主党との対立激化は買い材料に。

## 主要国株式の動き



## 主要国金利の動き



## 主要通貨の動き



注) 上記3図の直近値は2019年1月22日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

## ◆注目点:

## リスクオン? リスクオフ?

年初来、約2週間の間に新興国株式市場(MSCI新興国指数)に連動するETF(上場投資信託)には約\$20億もの大量の資金が流入。一方、米S&P500変動率(VIX)の動きを増幅させ連動するETN(上場投資証券)にも同期間で\$1億を超える流入、米株に波乱を予想する向きも。軍配は米中通商交渉の行方次第か。(徳岡)

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

### 本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。  
TOPIX（東証株価指数）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。  
ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会